

メールマジック プロフェッショナル

Windows版

バージョン11追加マニュアル



このマニュアルにはバージョン10とバージョン11に追加された新しい機能などについての説明が記載されています。

SMTPサーバーの設定

初めてメールマジックを立ち上げるとき、「サーバー設定ダイアログ」が表示されます。ここにSMTPサーバー（メールを送信するサーバー）の情報を入れて「接続」をクリックします。今すぐサーバー設定を行いたくない場合は「キャンセル」をクリックして下さい。サーバー設定は「オプション」メニューの「サーバー設定」でもできます。



SMTPサーバー設定

SMTPサーバー情報を入れて下さい。情報を入れてから「接続」をクリックして下さい。

SMTPサーバー設定

メールアドレス

名前

SMTP サーバー

ユーザーID

パスワード

接続 キャンセル

ここで入れた情報でサーバーに接続できない場合は「オプション」メニューの「サーバー設定」を選んで手動で設定を行って下さい。（下記の「サーバー設定ダイアログ」を参照して下さい。）

※「名前」に送信者の名前を入れてください。（例：鈴木 秀樹）

バウンスメール処理機能

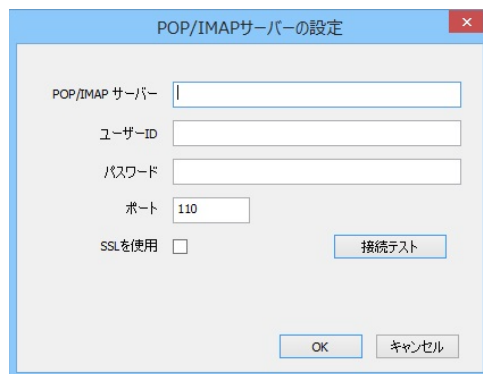
沢山のメールを送信するとき、何かの理由で一部のメールが送信先まで届かなくて戻って来ることがあります。こういうメールはバウンスメールと言います。ほとんどの場合、届かない理由はアドレスが間違っていることです。この機能を使ってバウンスメールを検索して自動的にデータベースから削除、または「バウンスメール」グループに移動できます。メールを送信するときに「バウンスメール」グループに入っているメールアドレスには送信されません。

※「メールマジック」はメールの件名を見てバウンスメールかどうかを判断します。「メールが届きませんでした」、Mail delivery failed、Undelivered mailなどの件名のメールがバウンスメールとして判断されます。サーバーによってバウンスメールの件名が異なりますのでメールマジックが認識しないバウンスメールがある場合があります。

バウンスメール処理機能の使い方

1. 受信メールサーバー（POP/IMAP サーバー）の設定

エラーで戻って来たメールを検索するため、POP/IMAPサーバーにアクセスする必要があります。「オプション」メニューのサーバー設定を選択して、表示されるダイアログの中にある「POP/IMAPサーバー設定」ボタンをクリックして下さい。



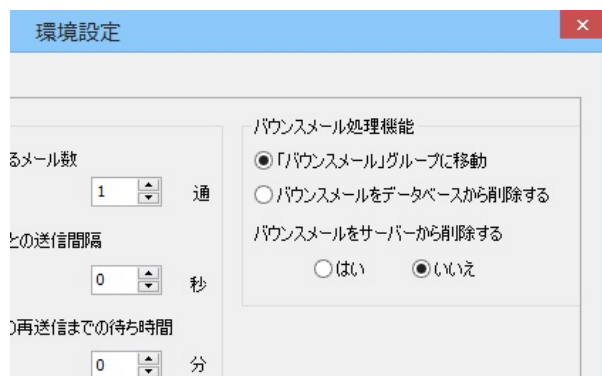
POP/IMAPサーバー設定ダイアログボックスのスクリーンショット。タイトルバーには「POP/IMAPサーバーの設定」とあり、右上には閉じるボタン（×）があります。フォームには以下の項目があります：

- POP/IMAP サーバー: 入力フィールド
- ユーザーID: 入力フィールド
- パスワード: 入力フィールド
- ポート: 110 (入力フィールド)
- SSLを使用: ☐ (チェックボックス)
- 接続テスト: ボタン
- OK: ボタン
- キャンセル: ボタン

このダイアログに必要な情報を入力します。接続を確認したい場合は「接続を確認」ボタンをクリックして下さい。

2. 機能の設定

「オプション」メニューの「環境設定」を選んで、「送信」タブをクリックして下さい。右上にバウンスメール処理機能の設定オプションがあります。



環境設定ダイアログボックスの送信タブのスクリーンショット。タイトルバーには「環境設定」とあり、右上には閉じるボタン（×）があります。左側には以下の項目があります：

- 送信するメール数: 1 (スピンボックス) 通
- 送信の送信間隔: 0 (スピンボックス) 秒
- 再送信までの待ち時間: 0 (スピンボックス) 分

右側には「バウンスメール処理機能」のセクションがあり、以下のオプションがあります：

- ☒ 「バウンスメール」グループに移動
- ☐ バウンスメールをデータベースから削除する
- バウンスメールをサーバーから削除する:
 - ☐ はい
 - ☒ いいえ

1. バウンスメールを削除するか「バウンスメール」グループに移動するか設定して下さい。
2. 受信メールサーバーにあるバウンスメールを削除するかそのまま残すか設定して下さい。

3. バウンスメール機能の実行

メールを送信後、データベースの「ツール」メニューから「バウンスメールの確認」を選びます。

※メールアドレスデータが一番左のフィールドに入っていることを確認してください。もし別のフィールドに入っている場合は、データベースウィンドウの下にあるボタンを使ってメールアドレスデータが入っているフィールドを一番左に移動させてください。



表示されるダイアログの中にある「開始」ボタンをクリックします。

メールマジックは受信サーバーに接続してバウンスメールを検索します。受信サーバーに沢山のメールがある場合、検索に時間がかかります。

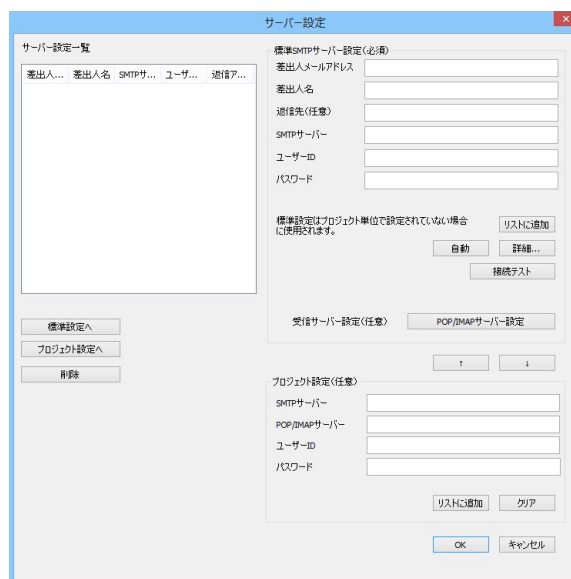
先ほど行った設定によって、戻って来たメールのメールアドレスが入っている行がデータベースから削除されるか、または「バウンスメール」グループに移動されます。

次からメールを送信するときに「バウンスメール」グループにあるメールアドレスにはメールが送信されません。

サーバー設定ダイアログの変更

11からサーバー設定ダイアログの内容が少し変わりました。説明書の「サーバー設定ダイアログ」の部分の代わりに下記の説明を参照して下さい。

[オプション]メニューの [サーバー設定 …]を選択すると「サーバー設定ダイアログ」が表示されます。このダイアログでSMTPサーバーの設定を行います。



自動サーバー設定

差出人メールアドレス、SMTP サーバー、ユーザー ID とパスワード だけを入れて「自動」ボタンをクリックすると自動的に SMTP サーバーに接続できます。自動的に出来ない場合は下記の説明をお読みになってから手動で設定を行って下さい。

設定項目

差出人メールアドレス：差出人のメールアドレスを入力します。これは任意ですが、利用するプロバイダによっては差出人メールアドレスのドメインとメールサーバーのドメインが一致していないと送信できない場合があります。詳しくはプロバイダの書類をご参照ください。

差出人名：任意で差出人の名前を入力します。入力すると、送信されたメールの差出人のヘッダーに差出人名が記載されます。

返信先（任意）：返信のメールが差出人のアドレスと別のアドレスに届いてほしい場合はそのアドレスをここに入れます。

SMTP サーバー：メールを送信するサーバー(SMTP サーバー)を入力します。詳しくはプロバイダの書類をご参照ください。

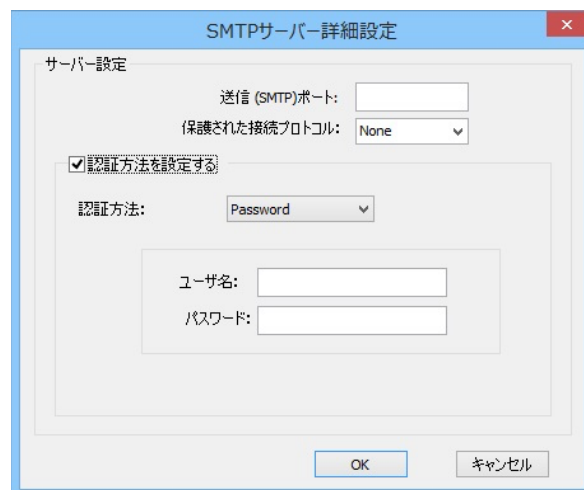
ユーザー ID：プロバイダの書類に書かれているユーザー ID(プロバイダによってはユーザーアカウントなどという呼び方になっています)を入力します。

パスワード：メールアカウントのパスワードを入力します。

※ 各設定は、プロバイダの書類やそのホームページ等をご参照ください。

詳細設定

「詳細」ボタンをクリックすると認証方法、ポート番号などを設定できるダイアログが表示されます。



SMTPサーバー詳細設定

サーバー設定

送信 (SMTP)ポート:

保護された接続プロトコル:

☒ 認証方法を設定する

認証方法:

ユーザ名:

パスワード:

OK キャンセル

「送信 (SMTP)ポート」にプロバイダが設定しているポートの番号を入れて下さい。

※ ポートの詳細については契約されているプロバイダへお問い合わせ下さい。

次に、SMTP サーバーが SSL また TLS 接続を必要としている場合は「保護された接続プロトコル」のメニューから「SSL/TLS」を選びます。STARTTLSの場合は「STARTTLS」を選びます。次に、SMTP 認証 (SMTP AUTH) を利用されている場合、[認証方法を設定する] 項目を設定します。これは、SMTP サーバーの利用者がそのサーバーの正規の利用者であることを確認するために、POP サーバーなどと同じように「ユーザー ID」と「パスワード」を入力し認証する仕組みになります。

※ SMTP 認証を利用していない場合、設定を行う必要はありません。また、認証方法はプロバイダへお問い合わせ下さい。

接続のテスト

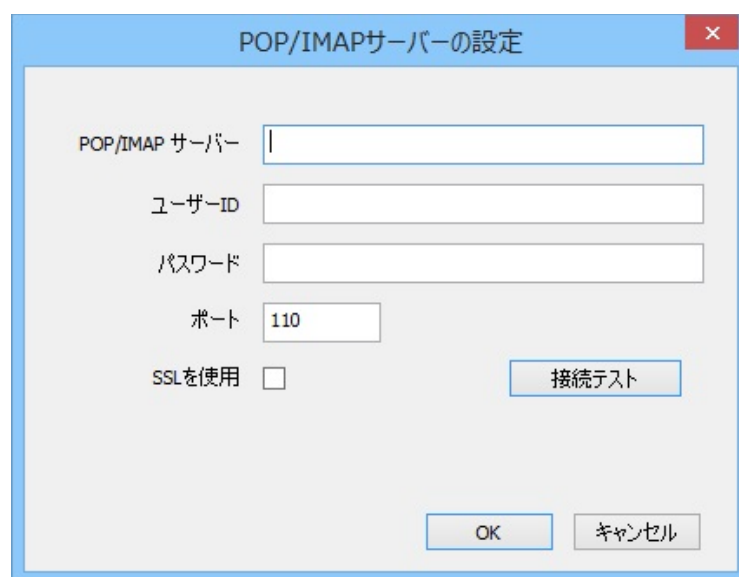
「接続テスト」ボタンをクリックすることでSMTPサーバーに接続できるかどうか確認できます。接続できる場合は「接続できました」のメッセージが表示されます。設定に問題があればSMTPサーバーに接続できませんので「接続できません」のメッセージが表示されます。「ファイルを見る」のボタンをクリックすると接続テストのログファイルが表示されます。サーバーからのエラーメッセージなどが記録されていますので、これを見て接続できない原因を突き止めることができます。

※サーバーによっては、SMTP認証の設定が間違っても接続テストが成功しますがメールを送れない場合があります。この場合はSMTP認証の設定、または「差出人メールアドレス」を確認して下さい。

POP/IMAPサーバー設定

POP/IMAPサーバー設定は「バウンスメール処理機能」を使う場合のみに必要です。

「POP/IMAPサーバー設定」ボタンをクリックすると下記のダイアログが表示されます。



POP/IMAPサーバーの設定

POP/IMAP サーバー

ユーザーID

パスワード

ポート

SSLを使用 ☐

接続テスト

OK キャンセル

必要な情報を入力して「OK」ボタンをクリックして下さい。

サーバー設定一覧

サーバー設定一覧には、100件のSMTPサーバー設定を登録することができます。複数のサーバーを設定・登録しておくことで、簡単にサーバーを切り替えることができます。登録されているサーバー設定をクリックして選択し、「標準設定へ」ボタンをクリックすると、選択された設定がコピーされます。「削除」ボタンをクリックすると、選択されたサーバー設定を削除することが可能です。

プロジェクト設定

プロジェクト設定は送信するメール（メールマジックプロフェッショナル書類）によってサーバーを切り替える必要がある場合に使います。通常は設定しません。この設定は認証が必要なサーバーでは使用できません。

パスワード機能

アプリケーションを立ち上げる際、パスワードが要求されるように設定できます。パスワードを設定することで特定の人のみがアプリケーションを使用できるようになります。個人データを守るためには便利です。

1. パスワードの設定

「オプション」メニューから「環境設定」を選びます。

「動作」タブにある「パスワードの編集」をクリックします。「パスワードの編集」ダイアログが表示されます。



ダイアログに任意のパスワードを入れて、確認のため、もう一度入れます。

「OK」をクリックします。

※パスワードがすでに設定されている場合は、「パスワードの編集」をクリックすると現在のパスワードを要求するダイアログが表示されます。正しいパスワードを入れないと、パスワード編集のダイアログが表示されません。

2. パスワードを有効にする

アプリケーションを立ち上げる際、パスワードが要求されるようにするため、上記の「環境設定」の「動作」タブにある「パスワードを有効にする」チェックボックスをクリックする必要があります。

※注意：パスワードを有効にすると、アプリケーションを立ち上げる際、正しいパスワードを入力しなければアプリケーションが使えないので必ずパスワードを安全な場所に保管して下さい。パスワードがないとそのユーザーでメールマジックプロフェッショナルが使えなくなります。

日付の自動入力

各メールに日付が自動的に挿入されるように設定できます。

1. 自動日付入力の使い方

今日の日付を挿入したいところにクリックしてカーソルを点滅させます。

「項目ウィンド」の「日付」をクリックします。

メール文に[[日付]]が表示されます。メールを送信するとそこに今日の日付が表示されます。

2. 日付の形式の設定

「オプション」メニューの「環境設定」を選んで、「編集」タブをクリックします。「日付形式」メニューから形式を選びます。

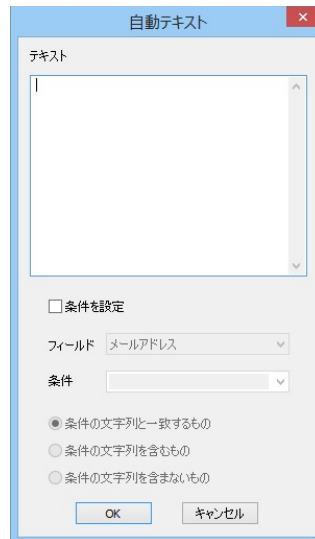
自動テキスト機能

自動テキスト機能を使ってメールに指定したテキストを挿入できます。データベースのフィールドの中身によってテキストが表示されるかされないか設定できます。例えば「様」または署名の自動挿入ができます。または受信者の性別、各位、住所などによってメールの中身が変わるように使えます。

1. 自動テキストの設定

自動テキストの3パターン（テキスト1、テキスト2、テキスト3）を設定できます。

「ツール」メニューの「自動テキスト」のサブメニューから設定したいテキストの項目を選びます。下記のダイアログが表示されます。



テキスト：ここにテキストを入力します。

条件を設定：ここにチェックを付けると設定した条件の場合のみにテキストが表示されます。ここにチェックが付いていない場合はテキストは各メールに表示されます。

フィールド：条件の設定に使うフィールドを選びます。

条件：条件のテキストを設定します。ポップアップメニューから選ぶか入力します。

条件の文字列と一致するもの：これを選ぶと「フィールド」で選んだフィールドの中身が「条件」のテキストと一致している場合のみにテキストがメールに挿入されます。

条件の文字列を含めるもの：これを選ぶと「フィールド」で選んだフィールドの中身が「条件」のテキストを含んでいる場合のみにテキストがメールに挿入されます。

条件の文字列を含まないもの：これを選ぶと「フィールド」で選んだフィールドが「条件」のテキストを含んでいない場合のみにテキストがメールに挿入されます。

2.メールにテキストを挿入

テキストを挿入したいところにクリックしてカーソルを点滅させます。

「項目ウインド」の「テキスト1」、「テキスト2」または「テキスト3」をクリックします。

メール文に「テキスト1」、「テキスト2」または「テキスト3」が表示されます。メールを送信するとそこに設定したテキストが表示されます。

3.項目ウインドのボタン名の変更

分かりやすくするために「項目ウインド」のボタン名を変更できます。たとえば「テキスト1」を「様」の挿入に使う場合、ボタン名を「様」に変更すると分かりやすいですね。

「オプション」メニューの「項目名」の変更を選ぶことでボタン名を編集できます。新しいボタン名は「自動テキスト」のサブメニューにも反映されます。

自動テキストは各メールマジックファイルに保存されます。新規のファイルには残りません。同じ自動テキストを複数のメールに使いたい場合（署名など）「ファイル」メニューの「テンプレート」を使ってテンプレートとして保存すると便利です。

送信先の条件設定

「送信」ダイアログにもう一つの条件設定が追加されました。設定されたテキストを含んでいるメールアドレスのみにメールの送信ができます。例えば「docomo」が入っているアドレスのみに送信できます。

送信

送信方法

- ☒ データベースの全てのアドレスに送信する
- ☐ データベースのチェックのついているもののみ送信する
- ☐ 前回送信できなかったもののみ送信する
- ☐ グループを指定
- ☐ 下記のテキストを含んでいるアドレスのみに送信

オプション

- ☐ タイマーで送信する
- ☐ 送信開始と同時にメールマジックを最小化する

OK キャンセル

条件の設定しかた

「送信開始」ボタンをクリックして「送信」ダイアログを表示させます。

「下記のテキストを含んでいるアドレスのみに送信」のテキストボックスに条件のテキストを入れます。ラジオボタンが自動的に選択されます。

プレビュー画面

プレビュー画面でメールのヘッダテキストを表示しないようにできるようになりました。バージョン10からプレビュー画面を開くとメールのヘッダテキストが表示されません。メール本文のみが表示されます。

プレビュー

Text HTML

に登録ユーザー様に最新情報をご案内いたします。

2017年12月5日

株式会社インフィニシス

今週の注目商品：使いやすいデザインソフト「ドラフティングキャド」(Mac/Windows)

ドラフティングキャドは、使いやすいドローソフトと同様の感覚で使用できるので、デザインソフトウェアとして、非常に使いやすくなっています。ドラフティングキャドはドローソフトのデザインツールです。

通常価格：5,300～円 セール価格：2,980円（税込）

製品情報とご購入
<http://www.infinisys.co.jp/product/draftingcad/index.shtml>

【お問い合わせ】
email： http://www.infinisys.co.jp/inquiry-bin/before_purchase.cgi
TEL：022-391-0760
FAX：022-391-0761

【株式会社インフィニシス】

プレビューの大きさ（CSSピクセル）

縦：	483
横：	698

画面サイズ（CSSピクセル）

iPhone 5:	568X320
iPhone 6:	667X375
Galaxy Note 2:	640X360
Galaxy Note:	640X400
Galaxy S5:	640X360
Galaxy S4:	640X360
Sony Xperia Z:	640X360

開じる

1/23832 <<前へ 次へ>> ☐ 選択されたレコードのみを表示 ☐ ヘッダを表示

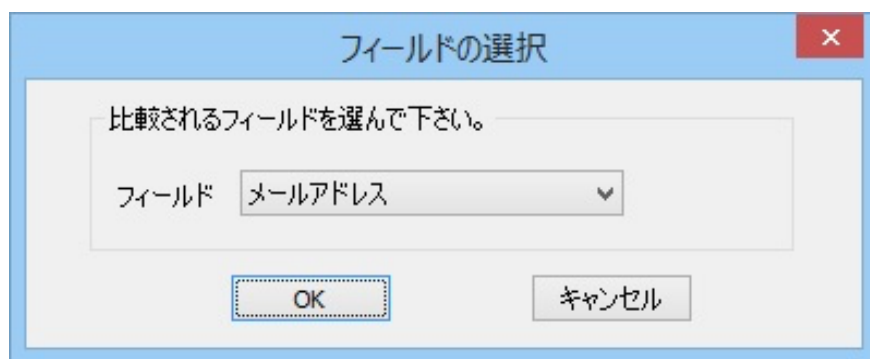
「ヘッダを表示」のチェックボックスをクリックするとヘッダテキストが表示されます。

ファイルを使って重複データを削除

この機能を使って、テキストまたエクセルのファイルの内容をメールマジックのデータベースと比較して、そのファイルにあるデータと一致する項目をデータベースから自動的に削除することができます。例えばお客さんに、ある商品を特別価格で提供するDMを送った場合、商品を購入するお客さんのメールアドレスが入っているテキストファイルを準備すれば、そのファイルにあるメールアドレスをDMに使ったメールマジックのデータベースから削除して、まだ購入していないお客さんのみに催促のDMを送ることができます。

使い方

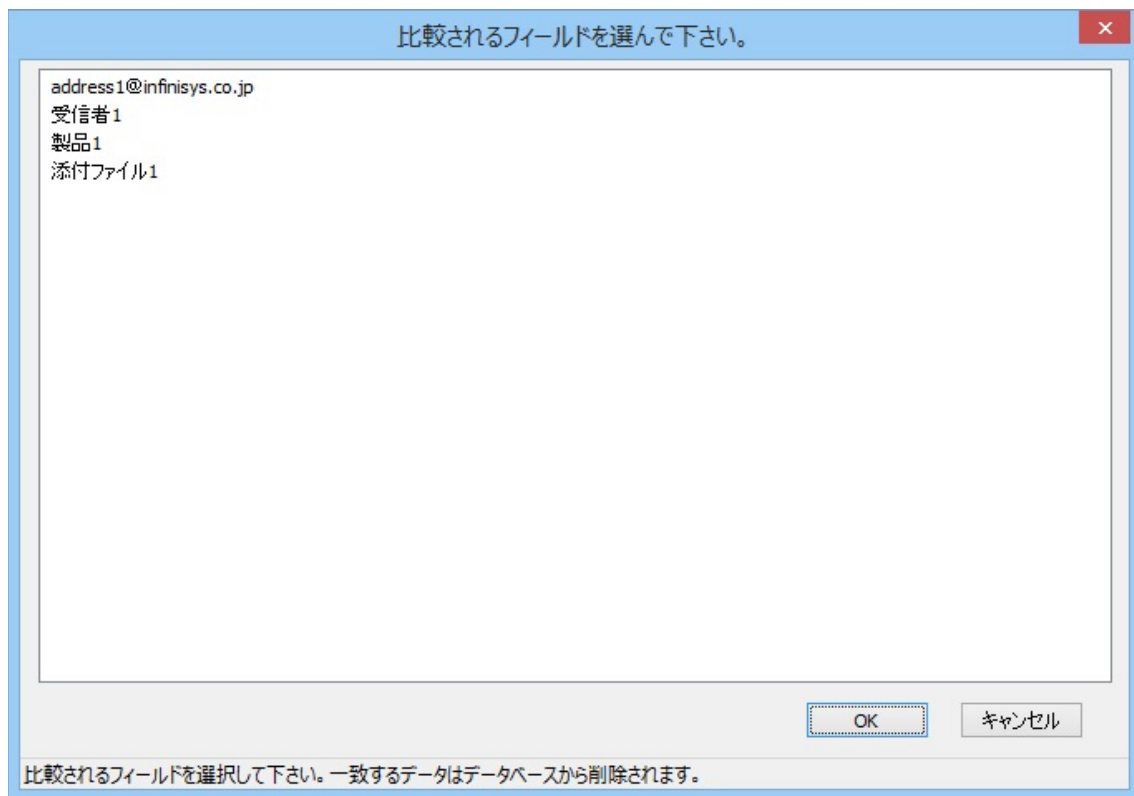
「データベース」メニューから「ファイルを使って重複データを削除」を選びます。
下記のダイアログが表示されます。



比較されるデータベースのフィールドをポップアップメニューから選んで「OK」をクリックします。

「ファイルを開く」ダイアログが表示されます。
比較するファイルを選んで「開く」をクリックします。

ファイルの形式によってテキスト形式またはエクセルのシートを選択するダイアログが表示する場合がありますが次はファイルに入っているデータのフィールドの中、どれをメールマジックのデータベースに比較するかを選ぶダイアログが表示されます。



比較したいフィールドをクリックして「OK」をクリックします。

メールマジックのデータベースにファイルのデータと一致する項目がある場合、そのデータは自動的に削除され、データベースが開きます。

動作環境

OS : Windows 7/ Windows 8/ Windows 10日本語版

CPU : Intel Celeron 1.4GHz 以上

メモリ : 512MB 以上